

汚染水対策スケジュール (1/2)

資料1-1

分野	括り	対象設備・作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定	5月							6月							7月							8月							9月							10月							11月							12月以降	備考
				15	22	29	5	12	19	26	1	8	15	22	29	5	12	19	26	1	8	15	22	29	5	12	19	26	1	8	15	22	29	5	12	19	26	1	8	15	22	29												
●原子炉建屋滞留水を2020年末の半分程度に低減(2022~2024年度)	建屋内滞留水	【1~4号機 滞留水移送装置】 (実績) ・1~4号機滞留水移送装置運転 (予定) ・1~4号機滞留水移送装置運転	現場作業 1~4号機滞留水移送装置設置 運転																																											(継続運転)	3号機 原子炉建屋滞留水水位低下(T.P.-2800目標) 実施予定 (2022/6/1~) [6/30時点水位 約T.P.-2100] ※段階的に水位低下実施							
		【α核種除去設備検討】	設計・検討	詳細設計・工事																																										(2023年度 工事完了予定)								
		【1~4号機 T/B床面スラッジ等の回収方法検討】	設計・検討	詳細設計・工事																																										(2023年度 設計完了予定)								
		【滞留水一時貯留タンク設計】	設計・検討	詳細設計・工事																																										(2023年度 工事完了予定)								
		【プロセス主建屋・高温焼却建屋ゼオライト土壌の検討】	設計・検討	詳細設計・工事																																										(2024年内 工事完了予定)								
●汚染水発生量を100m3/日以下に抑制(2025年内)	浄化設備	【既設多核種除去設備】 【高性能多核種除去設備】 【増設多核種除去設備】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	現場作業 処理運転(処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止)																																											(継続運転)	処理水及びタンクのインサービス状況に応じて適宜運転または処理停止 増設多核種除去設備 前処理設備改造に係る実施計画変更申請 (2022/4/28認可)							
		【サブドレン浄化設備】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	現場作業 処理運転																																											(継続運転)	サブドレン汲み上げ・運用開始 (2015.9.3~) 排水開始 (2015.9.14~) 5/6号機サブドレンの復旧・汲み上げ・運用開始 (2022.3~)							
		【地下水バイパス設備】 (実績) ・運転 (予定) ・運転	現場作業 運転																																											(継続運転)								
		【セシウム吸着装置】 【第二セシウム吸着装置】 【第三セシウム吸着装置】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	現場作業 処理運転																																											(継続運転)	2021年1月29日 吸着塔の第二セシウム吸着装置及び第三セシウム吸着装置での再利用の実施計画変更認可 (原規機発第2101291号) サイトバンカ建設天井クレーン不具合事象に伴い、使用前検査工程検討中。(2022年9月~11月まで予定) 使用前検査予定月: 2022年7月(第二セシウム吸着装置1号、2号) 2022年8月(第二セシウム吸着装置3号) サイトバンカ建設天井クレーン不具合事象(2022年6月22日)に伴い、第三セシウム吸着装置使用前検査工程再検討中。							
		(実績・予定) ・末濃結晶所補助工法は2018年9月に完了 ・維持管理運転2019年2月21日全域展開完了	現場作業 維持管理運転(北側、南側の一部 2017/5/22~、海側の一部 2017/11/13~、海側全域・山側の一部 2018/3/14~、山側全域2019/2/21完了)								2022年4月20日 プライン供給系統戻し、電動弁現地動作試験完了																																			(継続運転)								
フェーシング(陸側運水室内エリア)	【建土室内フェーシング(全6万㎡)】 ・4号機建屋西側	現場作業 4号機建屋西側																																																		(2023年2月完了予定)	4号機建屋西側: 2023年2月完了予定	
	3号機R/B 燃料取出用カバー 雨水対策 その2 (カバー南側の対策)	(予定) ・2022年6月24日 雨樋設置完了	現場作業 2022年4月 工事着手																																																		(2022年6月24日 工事完了)	

水処理設備の運転状況, 運転計画

(2022年7月1日～2022年8月4日)

2022年7月15日
東京電力ホールディングス株式会社

既設多核種除去設備

	1(金)	2(土)	3(日)	4(月)	5(火)	6(水)	7(木)	8(金)	9(土)	10(日)	11(月)	12(火)	13(水)	14(木)	15(金)	16(土)	17(日)	18(月)	19(火)	20(水)	21(木)	22(金)	23(土)	24(日)	25(月)	26(火)	27(水)	28(木)	29(金)	30(土)	31(日)	1(月)	2(火)	3(水)	4(木)			
A	計画停止										計画停止																											
B	点検停止										計画停止																											
C	点検停止	計画停止			点検停止	計画停止										点検停止	計画停止	点検停止																				

増設多核種除去設備

	1(金)	2(土)	3(日)	4(月)	5(火)	6(水)	7(木)	8(金)	9(土)	10(日)	11(月)	12(火)	13(水)	14(木)	15(金)	16(土)	17(日)	18(月)	19(火)	20(水)	21(木)	22(金)	23(土)	24(日)	25(月)	26(火)	27(水)	28(木)	29(金)	30(土)	31(日)	1(月)	2(火)	3(水)	4(木)
A	点検停止																																		
B	点検停止																																		
C	点検停止										点検停止										点検停止	計画停止	点検停止												

高性能多核種除去設備

	1(金)	2(土)	3(日)	4(月)	5(火)	6(水)	7(木)	8(金)	9(土)	10(日)	11(月)	12(火)	13(水)	14(木)	15(金)	16(土)	17(日)	18(月)	19(火)	20(水)	21(木)	22(金)	23(土)	24(日)	25(月)	26(火)	27(水)	28(木)	29(金)	30(土)	31(日)	1(月)	2(火)	3(水)	4(木)						
A	計画停止	点検停止										計画停止	点検停止	計画停止																											

セシウム吸着装置(KURION), 第二セシウム吸着装置(SARRY), 第三セシウム吸着装置(SARRY2)

	1(金)	2(土)	3(日)	4(月)	5(火)	6(水)	7(木)	8(金)	9(土)	10(日)	11(月)	12(火)	13(水)	14(木)	15(金)	16(土)	17(日)	18(月)	19(火)	20(水)	21(木)	22(金)	23(土)	24(日)	25(月)	26(火)	27(水)	28(木)	29(金)	30(土)	31(日)	1(月)	2(火)	3(水)	4(木)
SARRY	計画停止			点検停止	計画停止			点検停止	点検停止										計画停止	点検停止															
SARRY2	計画停止										点検停止										計画停止	点検停止													
KURION	計画停止																																		

※ 現場状況を踏まえて運転するため、計画を変更する場合があります。

福島第一原子力発電所の滞留水の水位について

2022年7月15日

(2022年7月1日～2022年7月14日)

東京電力ホールディングス株式会社

	原子炉建屋水位				タービン建屋水位				廃棄物処理建屋水位				集中廃棄物処理施設水位			
	1号機	2号機	3号機		4号機	1号機	2号機	3号機	4号機	1号機	2号機	3号機	4号機	プロセス主建屋	高温焼却炉建屋	サイトバンカ建屋
			HPCI室	トーラス室												
7月1日	-2039	-2898	-2164	-2148	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-255	87	961
7月2日	-2042	-2887	-2168	-2150	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-247	-134	961
7月3日	-2048	-2882	-2164	-2138	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-245	-356	961
7月4日	-2052	-2898	-2168	-2141	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-242	-577	962
7月5日	-2037	-2901	-2166	-2146	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-237	-474	962
7月6日	-2040	-2886	-2166	-2148	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-234	-273	962
7月7日	-2038	-2882	-2159	-2143	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-227	-330	962
7月8日	-2042	-2879	-2157	-2148	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-213	-535	962
7月9日	-2046	-2884	-2157	-2146	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-209	-464	962
7月10日	-2075	-2903	-2154	-2150	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-205	-217	962
7月11日	-2067	-2882	-2159	-2152	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-204	-42	962
7月12日	-2056	-2901	-2157	-2150	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-198	-101	961
7月13日	-2061	-2879	-2154	-2148	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-185	-309	961
7月14日	-2070	-2898	-2147	-2150	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-179	-209	962
最下階床面高さ	-2666	-4796	-4796	-4796	-4796	443	-1752	-1737	-1739	-36	-1736	-1736	-1736	-2736	-2236	2358

備考欄

- ※ T.P.表記 (単位:mm)
- ※ 5時時点の水位
- ※ 1号機タービン建屋の滞留水処理完了(2017年3月)
- ※ 1号機廃棄物処理建屋の滞留水処理完了(2019年3月)
- ※ 3号機原子炉建屋水位は、南東三角コーナー水位が停滞している事から水位変動を監視するため一時的に記載(2019年7月5日～)
- ※ 4号機原子炉建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ 2～4号機タービン建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ 2～4号機廃棄物処理建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ サイトバンカ建屋は過去に滞留水を誤って移送した経緯があり、排水したものの現状も低レベルの汚染が残っていることから、水位を監視している。
《当該建屋内の水は1～4号機建屋及び集中廃棄物処理施設(プロセス主建屋、高温焼却炉建屋)内の建屋滞留水と切り離されており、放射能濃度も低いことから、建屋滞留水ではない。》
なお、これまでは水位計の測定下限値(約T.P.2700mm)以下まで水位低下処置し監視を行ってきたが、さらに建屋サンプの水位変動を確認するため、2022年4月19日より水位計を移設し連続監視を行う事とした。

建屋内における残水等の状況について

No.	号機	建屋	対象エリア	区分	区分の判断日※1	運用目標値／基準値(mm)	測定頻度	今回			1回前			2回前			最終排水実績	排水計画	床面(mm)	水位計の有無	水位調整不可能予定時期	備考	
								確認日	水位	1回前との水位差(mm)	確認日	水位	2回前との水位差(mm)	確認日	水位	3回前との水位差(mm)							
1	1号機	T/B	電気マンホールNo.1	排水完了エリア	2017/7/5	T.P. 3,023	1回/月	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/8	測定下限値以下	-	2022/6/6	測定下限値以下	-	2019/10/28	-	T.P. 1,743	無	完了済	大雨警報発報時に、マンホール上部に水たまりや流入経路は目視にて確認できなかった。	
			電気マンホールNo.2	排水完了エリア	2017/7/5	T.P. 2,293	1回/月	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/8	測定下限値以下	-	2022/6/6	測定下限値以下	-	2021/10/26	-	T.P. 1,743	無	完了済	大雨警報発報時に、マンホール上部に水たまりや流入経路は目視にて確認できなかった。	
2	1号機	T/B	主油タンク室	排水完了エリア	2017/7/5	T.P. 3,463	1回/月	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/8	測定下限値以下	-	2022/6/6	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 3,443	無	完了済		
3			復水脱塩装置樹脂貯蔵タンク室	排水完了エリア	2017/7/27	T.P. 2,063	1回/3ヶ月	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/8	測定下限値以下	-	2022/5/30	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 2,043	無	完了済		
4			ハウスボイラ室	排水完了エリア	2017/7/11	T.P. 2,250	1回/月	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/8	測定下限値以下	-	2022/6/6	測定下限値以下	-	2021/9/7	-	T.P. 943	有(露出)	完了済		
5			ディーゼル発電機(B)室	排水完了エリア	2017/7/19	T.P. 1,926	1回/月	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/8	測定下限値以下	-	2022/6/6	測定下限値以下	-	2021/9/15	-	T.P. 543	有(露出)	完了済		
6			床ドレンサンブ	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	-	1回/日	2022/6/8	T.P. -708	-	2022/5/12	T.P. -721	-	2022/4/14	T.P. -711	-	-	-	-	有	完了済	
7			機器ドレンサンブ	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	-	1回/日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	完了済	
8			復水ポンプ配管トレンチ	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	-	1回/日	2022/6/8	T.P. 9	-	2022/5/12	T.P. 5	-	2022/4/14	T.P. -152	-	-	-	T.P. -857	有	完了済	水位は仮設水位計にて計測
9			復水ポンプビット(A)	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	-	1回/日	-	測定困難※3	-	-	測定困難※3	-	-	-	-	-	-	-	無	完了済	
			復水ポンプビット(B)	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	-	1回/日	-	測定困難※3	-	-	測定困難※3	-	-	-	-	-	-	-	無	完了済	
			復水ポンプビット(C)	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	-	1回/日	-	測定困難※3	-	-	測定困難※3	-	-	-	-	-	-	-	無	完了済	
10	給水加熱器ドレンポンプビット(A)	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	-	1回/日	-	測定困難※3	-	-	測定困難※3	-	-	-	-	-	-	-	無	完了済			
10	給水加熱器ドレンポンプビット(B)	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	-	1回/日	-	測定困難※3	-	-	測定困難※3	-	-	-	-	-	-	-	無	完了済			
11	1号機	Rw/B	LDT室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/8	測定下限値以下	-	2022/6/6	測定下限値以下	-	-	-	T.P. -36	有(露出)	完了済		
12			FSST室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/6/13	T.P. 74	0	2022/6/8	T.P. 74	10	2022/6/6	T.P. 64	0	2022/3/8	-	T.P. -36	有(露出)	完了済		
13			OGST室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/8	測定下限値以下	-	2022/6/6	測定下限値以下	-	-	-	T.P. -36	有(露出)	完了済		
14			床ドレンサンブ(A)	床面以下に貯留する残水	2019/4/22	-	-	1回/日	-	測定困難※3	-	-	測定困難※3	-	-	-	-	-	-	無	完了済		
15			床ドレンサンブ(B)	床面以下に貯留する残水	2019/4/22	-	-	1回/日	-	測定困難※3	-	-	測定困難※3	-	-	-	-	-	-	無	完了済		
16			高電導度廃液サンブ	床面以下に貯留する残水	2019/4/22	-	-	1回/日	-	測定困難※3	-	-	測定困難※3	-	-	-	-	-	-	無	完了済		
17	2号機	T/B	低圧復水ポンプエリア	建屋貯留水	-	-	-	2022/6/8	測定困難※4	-	2022/5/12	測定困難※4	-	2022/4/14	測定困難※4	-	-	-	T.P. -1,752	無	-	復水器エリアと連通性有※2	
18			C/B(バッテリー室)	排水完了エリア	2018/1/31	T.P. 1,599	1回/月	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/7	測定下限値以下	-	2022/5/30	測定下限値以下	-	2018/1/26	-	T.P. 448	無	完了済		
19			C/B(電気品室)	排水完了エリア	2018/1/18	T.P. 1,644	1回/月	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/7	測定下限値以下	-	2022/5/30	測定下限値以下	-	2018/1/15	-	T.P. 448	有(露出)	完了済		
20			バッチ油タンク室	排水完了エリア	2018/3/26	T.P. 1,668	1回/月	2022/6/13	T.P. 478	0	2022/6/7	T.P. 478	10	2022/5/30	測定下限値以下	-	2021/9/9	-	T.P. 448	有(露出)	完了済		
21			スイッチギア室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/7	測定下限値以下	-	2022/5/30	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 448	有(露出)	完了済		
22			南西エリア	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/7	測定下限値以下	-	2022/5/30	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 448	有(露出)	完了済		
23			CD室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/7	測定下限値以下	-	2022/5/30	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 448	有(露出)	完了済		
24			消火ポンプ室(水位計設置箇所)	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/7	測定下限値以下	-	2022/5/30	測定下限値以下	-	2020/9/16	-	T.P. 448	有(露出)	完了済		
24			消火ポンプ室(ポンプ設置箇所)	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/7	測定下限値以下	-	2022/5/30	測定下限値以下	-	2020/6/29	-	T.P. 448	無	完了済		
25			ディーゼル発電機(A)室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/7	測定下限値以下	-	2022/5/30	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 448	有(露出)	完了済		
26	電気油圧式制御装置室 ※5	建屋貯留水	-	-	-	2018/1/31	測定下限値以下	-	2018/1/31	測定下限値以下	-	-	-	-	-	-	T.P. 448	無	-	復水器エリアと連通性有※2			
27	3号機	T/B	T/B地下階北東廊下 ※5	建屋貯留水	-	-	-	2017/12/25	測定下限値以下	-	2017/12/25	測定下限値以下	-	-	-	-	-	T.P. 463	無	-	復水器エリアと連通性有※2		
28			南西エリア	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/8	測定下限値以下	-	2022/5/30	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 463	有(露出)	完了済		
29			CD室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/8	測定下限値以下	-	2022/5/30	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 463	有(露出)	完了済		
30			ディーゼル発電機(A)室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/8	測定下限値以下	-	2022/5/30	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 463	有(露出)	完了済		
31			ディーゼル発電機(B)室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/8	測定下限値以下	-	2022/5/30	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 463	有(露出)	完了済		
32			電気油圧式制御装置室	排水完了エリア	2018/2/2	T.P. 1,725	1回/月	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/8	測定下限値以下	-	2022/5/30	測定下限値以下	-	2019/6/14	-	T.P. 463	無	完了済		
33			消火ポンプ室	排水完了エリア	2018/3/20	T.P. 1,644	1回/月	2022/6/13	T.P. 493	0	2022/6/8	T.P. 493	0	2022/5/30	T.P. 493	10	2022/2/15	-	T.P. 463	有(露出)	完了済		
34			バッチ油タンク室	排水完了エリア	2018/3/20	T.P. 1,665	1回/月	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/8	測定下限値以下	-	2022/5/30	測定下限値以下	-	2020/10/6	-	T.P. 463	有(露出)	完了済		
35			C/Bエリア	建屋貯留水	-	-	-	1回/日	2022/6/8	測定下限値以下※6	-	2022/5/12	測定下限値以下※6	-	2022/4/14	測定下限値以下※6	-	2020/10/2	-	T.P. -1,737	有	完了済	継続した水位上昇を確認。継続して排水する措置を実施済み。
36			4号機	T/B	C/B(バッテリー室)	排水完了エリア	2018/2/15	T.P. 1,683	1回/月	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/8	測定下限値以下	-	2022/5/30	測定下限値以下	-	2018/1/24	-	T.P. 461	有(露出)	完了済
37	C/B(電気品室)	排水完了エリア			2018/2/15	T.P. 1,636	1回/月	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/8	測定下限値以下	-	2022/5/30	測定下限値以下	-	2018/10/23	-	T.P. 461	有(露出)	完了済		
38	バッチ油タンク室	排水完了エリア			2018/3/23	T.P. 1,622	1回/月	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/8	測定下限値以下	-	2022/5/30	測定下限値以下	-	2020/10/14	-	T.P. 461	有(露出)	完了済		
39	M/Cエリア	排水完了エリア			2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/8	測定下限値以下	-	2022/5/30	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 461	有(露出)	完了済		
40	南西エリア	排水完了エリア			2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/8	測定下限値以下	-	2022/5/30	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 461	有(露出)	完了済		
41	ディーゼル発電機(A)室	排水完了エリア			2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/8	測定下限値以下	-	2022/5/30	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 461	有(露出)	完了済		
42	電気油圧式制御装置室 ※5	建屋貯留水	-	-	-	2018/1/12	測定下限値以下	-	2018/1/12	測定下限値以下	-	-	-	-	-	-	T.P. 461	無	-	復水器エリアと連通性有※2			

※1:現状の滞留水位より床面が低く、将来的な水位低下によって孤立すると想定されるエリアについては、運転上の制限(建屋滞留水<サブドレン水位)を満足する時期で調査を行い、区分分けするように計画する。

※2:2018/3/8,2018/4/24 面談資料参照。

※3:1号機タービン建屋は、現在、床ドレンサンブ内で水位管理を行っているため、T.P.443として管理(2018/4/6面談資料参照)

※4:連通のある復水器エリアは、連通高さ(T.P.-1527mm)以下にある床ドレンサンブで水位を制御しているため、連通高さを超えてから水位を記載する。

※5:床面露出。中間地下階のため、再冠水の可能性は低い。

※6:床面露出。床面(T.P.-1737mm)以下にあるストームドレンサンブで水位を制御しているため、床面高さを超えてから水位を記載する。

2022/6/8 0:00 時点の各建屋水位

建屋	1号機			2号機			3号機			4号機		
	R/B	Rw/B	T/B※6	R/B	Rw/B	T/B	R/B	Rw/B	T/B	R/B	Rw/B	T/B
滞留水の水位	T.P. -1,956	除去完了	除去完了	T.P. -1,919	除去完了	除去完了	T.P. -2,109 mm	除去完了	除去完了	除去完了	除去完了	除去完了
周辺サブドレン設定値	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650

※6:1号機T/Bの最下階の床レベルはT.P.443mm

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

各建屋地下エリアの滞留水貯留状況

最終更新：2020/2/8
東京電力ホールディングス株式会社

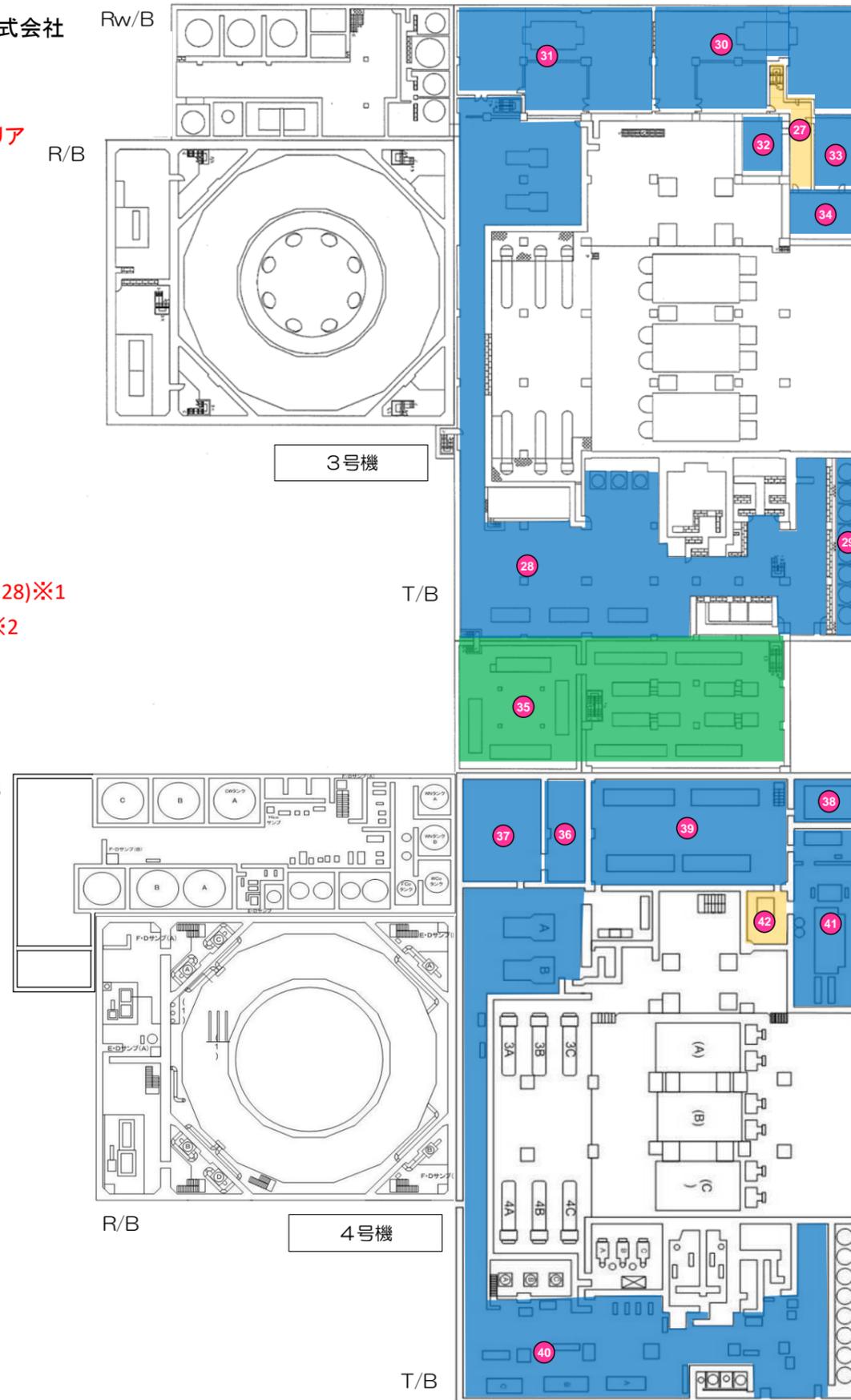
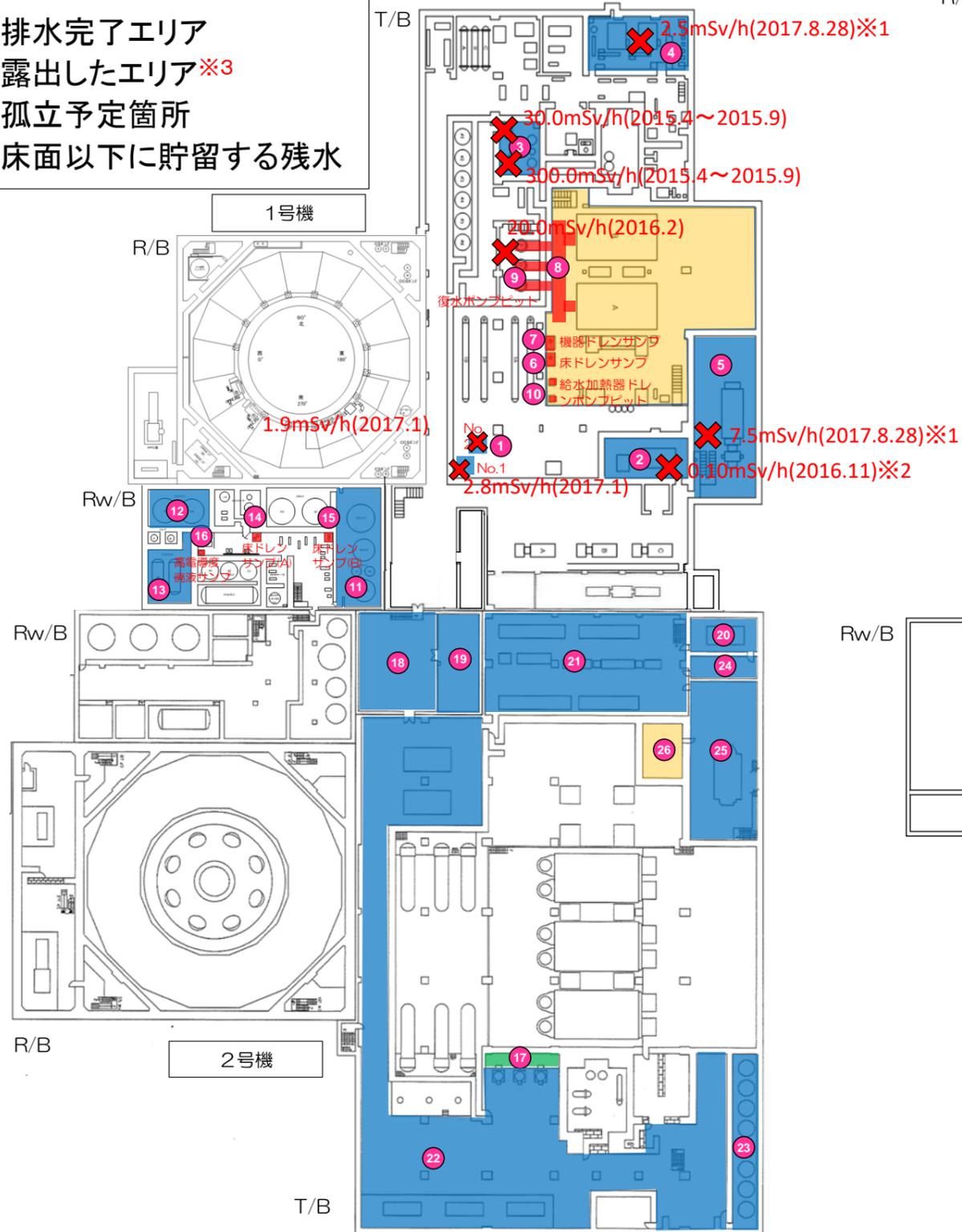
水位安定エリア等については線量測定が実施出来た場合、測定結果を記載している。

※1: 1階床面より3m程度挿入した箇所にて測定

※2: 作業エリアである1階床面で測定

※3: 孤立すると予想したエリアだが連通が確認されたため、建屋に滞留する滞留水のままと判断したエリア

- : 排水完了エリア
- : 露出したエリア※3
- : 孤立予定箇所
- : 床面以下に滞留する残水



使用済セシウム吸着塔一時保管施設(第三施設) 増設について

2022年7月15日

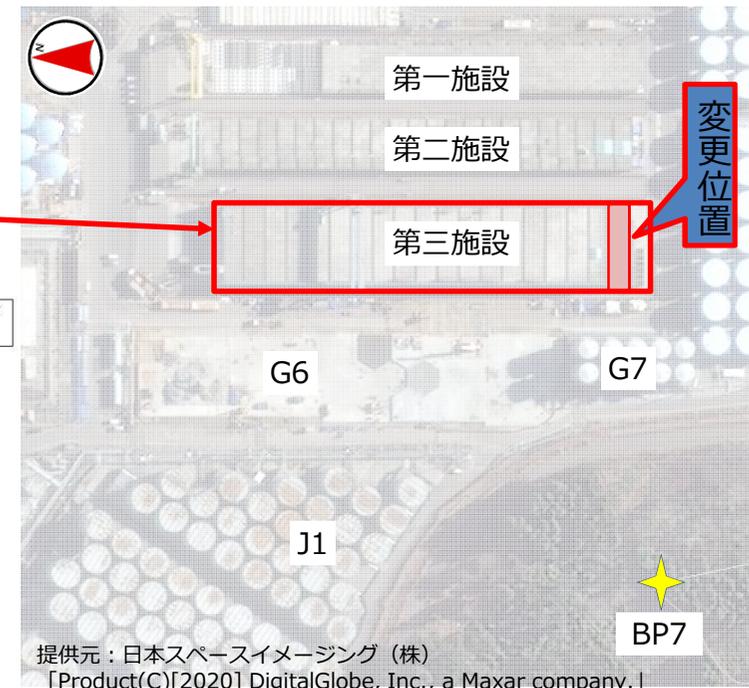
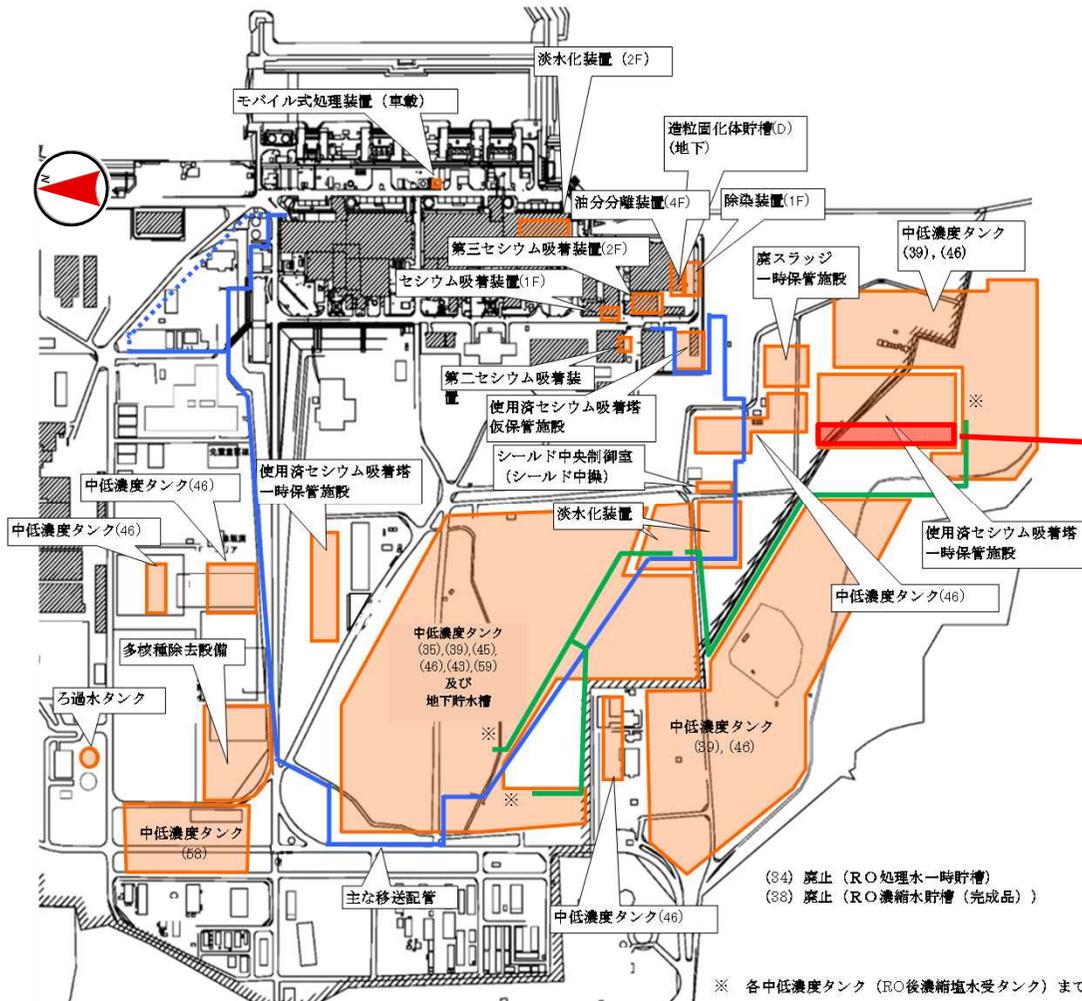
TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

第三施設増設について



- 使用済セシウム吸着塔一時保管施設（第三施設）は使用見込みのないKURION等格納用ボックスカルバート64基分の撤去工事を実施中。撤去した場所には、HIC格納用ボックスカルバート192基分の増設を予定している。



(84) 廃止 (RO処理水一時貯槽)
 (88) 廃止 (RO濃縮水貯槽 (完成品))

※ 各中低濃度タンク (RO後濃縮塩水受タンク) まで

- スケジュールは以下の通り。2023年度5月からの運用開始を目標とする。

	2022年度				2023年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
許認可 工程		審査						
工事 工程	撤去工事	増設工事			使用前検査	運用開始		

- 増設するH I C格納用ボックスカルバート192基分については、耐震B+クラスとして評価を進めている。耐震B+クラスに位置付けるため、実施計画に記載の格納条件に加え、以下の条件を追加する。

＜条件＞

- ・炭酸塩沈殿処理により発生したスラリーを内包するH I Cを格納する。
- ・格納するH I Cの表面線量平均値は0.1mSv/h以下とする。

- この条件にて、破損シナリオの影響評価を行う。

＜破損シナリオ＞

- ・上位地震動（Ss900）により、ボックスカルバート等が破損して内包する液体放射性物質が漏えいする。
- ・内包する液体放射性物質の総量はSr-90：7.00E+13Bqとする。（計算根拠は次スライド参照）

第三施設増設分の影響評価（案）

影響評価に用いるSr-90総インベントリ量は以下の通り算出し、裕度を取って7.00E+13Bqとした。

	値	単位	備考
H I C 表面線量の平均値(A)	0.1	mSv/h	
線量換算係数(B)	1.00E+06	(Bq/cm3)/(mSv/h)	以下の規制庁殿資料を参考に保守側に係数を設定
炭酸塩スラリーSr-90濃度(C)	1.00E+05	Bq/cm3	C=A*B
H I C 1 基あたり容量(D)	2.61	m3	実施計画より第三施設に格納するType2の値を採用
H I C 保管数量(E)	192	基	
総インベントリ量(F)	5.01E+13	Bq	F=C*D*E*10^6

<線量換算係数について>

原子力規制委員会殿資料「β線によるHICの放射線損傷を検討する上で重要なこと」の表に纏められた換算係数のうち、今回の計画で想定するH I C 表面線量に最も近い値を参考にして換算係数を決定した。

シリアルNo.	IRID/JAEA測定番号	Sr-90濃度	表面線量当量率	換算係数
		(Bq/cm3)	(mSv/h)	Bq/cm3 per mSv/h
PO646393-172	AAL-SI-2, 3, 4	9.0E+07 ± 2.0E+06	12.8	7.0E+06
PO641180-96	AL-SI-1	1.3E+06 *	1.64	7.9E+05
PO651179-175	AAL-SI-1	7.2E+06 ± 2.0E+05	4.31	1.7E+06
		*グラフから読み取った値		

- 破損シナリオの影響評価を行った結果、増設192基分については以下の通り耐震B + クラスであると評価する。

＜破損シナリオに対する影響評価＞

- ・ボックスカルバート及びH I C（遮へい体含む）が消失することを想定して線量評価を行った結果、最寄りの敷地境界評価点にて年間0.72mSv程度（Sr-90総量7E+13Bqでの速報値）の線量影響があると評価した。なお、1年間の間に線源の除去もしくは遮へいによる線量低減は十分可能である。
- ・ボックスカルバート等の破損により漏出した放射性物質を最寄りの敷地境界にいる公衆が吸引することにより、0.21mSv程度の線量影響があると評価した。（簡易評価による速報値）
- ・なお、実際にSs900以上の地震が発生しても、ボックスカルバート等が全て破損することは無いと想定されるため、評価シナリオは保守性を有している。

＜耐震クラス＞

- ・破損シナリオによる線量影響は速報値にて0.93mSv程度であり、50 μ Sv～5mSv/事故である。
- ・また、第三施設は供用期間が長期間であることから、適用する地震力はB + クラスと評価する。

第三施設増設分の影響評価（案）

漏出した放射性物質を公衆が吸入した場合の線量簡易評価

		単位	値	備考
放射性物質量	MAR	Bq	7.00E+13	核種はSr-90。
MARのうち事故の影響を受ける割合	DR	-	1	全機器が損傷するとして保守側に設定
霧困気中に放出され浮遊する割合	ARF	-	5.00E-05	出典※1より
肺に吸入され得る微粒子の割合	RF	-	1	知見となるデータが無いのため保守側に設定
環境中へ漏れ出る割合	LPF	-	1	機器・建物の損傷の程度を考慮せず保守側に設定
五因子法※2による放射性物質放出量	ST	Bq	3.50E+09	MAR×DR×ARF×RF×LPF
一般公衆の呼吸率	Ma	m ³ /s	2.57E-04	出典※3より2.22E+07cm ³ /日を換算
実効線量換算係数	H	mSv/Bq	1.60E-04	出典※4よりSr-90の吸入摂取の値
発電用原子炉施設の安全解析に関する気象指針による相対濃度	χ/Q	s/m ³	1.46E-03	大気安定度:D, 風速3.1m/s, 敷地境界まで142m
公衆が漏出した放射性物質を吸引することによる内部被ばく線量	Di	mSv	2.11E-01	ST×(χ/Q)×Ma×H

※1 : U.S. Department of Energy, AIRBORNE RELEASE FRACTIONS/RATES AND RESPIRABLE FRACTIONS FOR NONREACTOR NUCLEAR FACILITIES, Volume I - Analysis of Experimental Data, DOE-HDBK-3010-94 December 1994

※2 : 五因子法とは、核燃料サイクル施設の事故解析ハンドブック（NUREG/CR-6410）に記載された簡易的に放射性物質の放出量を評価する手法である。

※3 : 発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標に対する評価指針

※4 : The ICRP Database of Dose Coefficients : Workers and Members of the Public (Version 3.0) Publication 72